

〔発行〕**社会福祉法人 生活クラブ 柏市地域生活支援センター あいネット**

〒277-0004 柏市柏下65-1 ウェルネス柏内 TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709

HP. http://ai-net.a.la9.jp/ e-mail. ainet@kazenomura.jp

<ひとこと>今月からあいネットで働き始めた阿曽です。よろしくお願いいたします。

あいネット第1回運営

5月30日に平成24年度第1回あいネット運営委員会が開催されました。

2012年4月より、国のモデル事業であるパーソナルサポートサービス事業(以下、PS)の柏市への委託が決定し、地域生活支援センター ものを国のモデル事業として行うこととなりました。社会的排除リスクの高い方向けの相談として、関係機関のご協力を得て、柏市民の困りごとの解 決と、課題の分析・解決方法を具体的な事例を踏まえながら検討していく予定となっています。

0

0

今回は、各委員からの自己紹介、あいネットから平成23年度の報告、今後の運営委員会の進め方等の話がなされました。以下お話の抜粋です。

ど の 域において必要なこと、 いく予定です。 強化、 ような役割があるの 頭でも述べたように、 支援スキルの向上を目指していき 係機関の方々と事例を通して地 会を通して各機関との連携 それぞれの機関が か等を検討して 今後の運営委員

々、 たくさんの意見交換がなされまし

連携を強化していきた

0 0 実際のケースで相談したい)ひきこもりの方宅に訪問したら、表面 支援センターに近い理念を感じた。 の つけた場合、 か悩む。 木 っていなかった。 どこまで掘り起こしていい どこまで踏み込んでいい 人が

0この: 思う。 軌道にのったら息の長 幅広く支えていくべき。 事業の要はどこになるのか? コミュニティを作り上げ、 そのような人を見 い支援になる 地域で 包 も

)市民は、)社会資源をどう使っていくか。 労は両輪の関係の 親が相談に来た場合、 埋めていきたい。 じている。 ことが多い。 居が高いと感じている。 若者の居場所が少な 本人の意欲が低 制度のすき間 居住と就 いと感

要になってくると思う。 経済問題・法律問題の領域は 社会でこのようなものが

0

ビスに繋げて終わりになっていた。 戻ってしまうとそこまで手を伸ば ジを持った。 病院だと他機関 ・他サ せ

○PSの内容を聞

いて、

走型支援のイメ

トのPS業務について

いネッ

意見交換

<パーソナルサポートサービスとは···>

家族・地域・企業によって支えられない人は打ち捨てられても仕方がない。そういう社会は、結果として無縁・自殺・貧困が広がり、活力を失います。パーソナル・ サポート・サービス(PS)は、誰もが持っている一人ひとりの可能性を開花させるため、「人が人を支える」社会の仕組みづくりを目指しています。

失業や災害等が原因で生活の歯車が狂い始めると、生活苦やメンタルヘルスの悪化など複合的なトラブルを抱えるに至ってしまうことがあります。公共サービス があっても、その人を気遣い、サービスにつなげる手伝いをする人がいないと、縦割りの隙間に落ち込んでしまうこともあります。

PSは、一人ひとりに寄添う伴走型の支援を行うことで、生活破綻を食い止め、居場所や就業を通じた社会参加を確保し、その人が再び元気に歩き始めるお手伝 いをし、社会の絆を再生することを願っています。

(※元内閣府参与 湯浅 誠氏:文 参照)

障害への理解を深めてもらうことを目的に「障がい理解コンベンション 2012in ち ば」が6月3日、我孫子市のけやきプラザで開催されました。今年は「自閉症をもっ と理解し、自閉症の可能性を探ろう!」をテーマに、自閉症にスポットを当て、午前 は自閉症の青年を主人公にした映画「ぼくはうみがみたくなりました」を上映、午後 は会話ができない重度の自閉症と診断を受けながらも、絵本や詩集などを執筆して活 躍する東田直樹さんと母美紀さんの講演会を企画。参加者は222名で、自閉症の保護 者や家族の方々が半数をしめていましたが、福祉施設職員、特別支援学校教員、療育 関係者の方も多く、特別支援学校の教員を目指す学生も7名参加されました。 「授業 では学べない内容でした」とのアンケートが印象的でした。遠くは福岡・大阪・甲府 からもご参加いただき、改めて障がい理解へのニーズの高さを実感しました

「障がい理解コンベンション2012inちば」 (障がい理解推進チームWa's主催)が開催されました!

◎ 映画の感想

ここまで自閉症を描いた映画があったのかという驚きと、このような映画があるこ とへの喜びを感じ、涙が止まりませんでした。

◎ 講演会の感想

「障害者への配慮は必要だが、その人を傷つけるものであってはならない」その通 りだと思いました。そのことを忘れず、障害のある方と接したいと思います。

障がい理解推進チームWa's (ワズ)とは・・・

「障害者が幸せに暮らしていくためには『障害について話せること』『支援の輪が 広がること』『和(なご)める場所があること』が大切」をコンセプトに、平成24 年1月1日、障がい児ママ5名で設立。柏市を拠点に、公開イベント事業、出版事 業、仲間づくり事業を展開。代表:大隣裕子(おおどなりゆうこ)

*詳しくはHPをご覧下さい。http://was-kashiwa.jimdo.com/

市高齢者虐待防止ネットワーク運

息子が一番多く、

夫、娘と続き、

同居家族

はありますが、

ろです。

の家族関係があり、その他認知症や精神疾 体の56 は身体的虐待が前年より13件増 が90%。 継続して 虐待の発生の要因では 介護の重度化など。 いる件数は25 次いで心理的虐待。 虐待の種別 加し、全 一時的に 今まで

ネが一番多く、 年々増加。 支援センターなど総勢36名です。 人、女性35人で7割強が女性。 会の代表などや市の関係各課、 件中通報受理が47件。 平成23年度の報告では、 被虐待者の性別では 次いで警察から 通報者はケアマ 通報 各地域包括 虐待者は 男性12 の通報が 総数が7

協議会、 議会、 ただくことになり 構成メンバーは警察や法務局 今年度から、 民生委員協議会認知症の 医療関係 6月21日に させて

と家族の 開催され 会福祉協 人権委員

時間を要しても、 と今までの家族関係の歴史があり、 援に動くことがほとんどです。 決や改善が必要になります。 大きく影響していたり、 精神疾患や病気、 も苦しんでいることがわかります。 のは許されないことですが、関わってみる い でおり、 詰められており、 いネットでは、 特に虐待者が抱えている問題の解 経済的問題がその関係に ここが大事だと思うとこ 支援関係をむすぶのも 虐待者である家族の 複数の問題が絡ん 心理的にも追 また、 虐待者

ではないでしょうか

を検証することが適切な判断の力になる か始まりません。 るのかをいつも確認する必要があります。 虐待という判断や対応は、 ケースからきちんと学べているか 現場をよく知ることからし そして、誰がどう判断 一定の ル す ル

過去の

特定非営利活動法人手打ち職人集団むげん



高柳駅から、ちばレインボーバス鎌ヶ谷線「駒形」下車 徒歩 O 分の場所に、2012 年 7 月に開所した就労継続支援 B 型、特定非営利活動法人「手打職人集団 むげん」があります。施設長の岩谷さんにお話を聞きました。

○どんな場所ですか?

うどん屋です。レジ、洗い場、うどん打ち、接客、下膳、配膳があり、利用者の特性に合わせて働いてもらいます。2Fでは軽作業をしており、飲食のハードルの高い方にはこちらの作業をしてもらいます。

○どんな方が対象ですか?利用人数は?

3 障害を対象にしています。身体障害者の方は身体の状態に応じて受け入れたいと思います

自分の将来をきちんと考えている人、夢、希望を持てる人なら OK です。週1回の利用からでも大丈夫です。

定員20名ですが、7月からは3名でスタートする予定です。



むげんは利用者それぞれの「自立」を応援します。例えば、障害年金+給料で生活が出来れば、それは一つの自立の形だと思います。利用者、保護者、地域との「きずな」を大切にし、経営と障害者支援のバランスを大事に保ちながら、利用者と職員がお互いに成長していきたいと思っています。地域の信頼、近隣への貢献も大切にしていきたいと思います。



7/1 から開所します。まだ利用枠は空いています。自分で何かしらの夢を持っている 人は夢をきかせてほしい。ぜひ一緒に頑張りましょう。





取材時にはごま汁うどんを御馳走になりました。麺にコシがあり、つけ汁のしその葉の香りが爽やかで、食欲をそそりました。手打ちの場面も見学させて頂きましたが、とても本格的でした。経営と障害者支援のバランスを大切にする「むげん」の姿勢に、とても共感のもてる取材となりました。

講演名	日 時	場所	費用	申込み	問合せ先他
第12回 ステップアップ講演会&上演会 『妹が僕に映画をつくらせた。』 講師:赤崎正和さん 映画『ちづる』			1,000円	必要(先着順)	※ 申込用紙はあいネットにもございます。 柏市発達障害者支援協議会 事務局 〒277-0827 柏市松葉町 6-11-8 NPO 法人自閉症サポートセンター 発達障害支援室シャル内
					TEL/FAX:04-7105-7200

7月からあいネットに入職しました、 阿曽 乃里子(あそ のりこ)と申します。

旅行やスポーツが好きな 30 代後半です。福祉系相談員として、いつも思うのは一人ひとりを理解することが一番大切なことであり、一番難しいことだと思っています。

皆さまのお役に少しでも立つことができれば幸 いです。よろしくお願いいたします。

よろしくおねがいします

いんふぉめーしょん

アロマ・ボランティア**養成講座**(講師:長谷川記子先生)

日時:7月28日(土)、8月25日(土)の2日間 13時~17時

場所:けやきプラザ7階 研修室

定員:25名

受講料:2日間で5,000円(別途テキスト代1,300円、オイル代1,000円)

お問合せ・お申込み(※申込用紙はあいネットにもございます)

NPO 法人ホスピスケアを広める会

TEL/FAX: 04-7163-0634(受付時間 月~金 10時~12時)

住所: 〒277-0832

柏市北柏 1-2-7 少名子ビル 1 階

